

# コミュニケーションニュース Communication News

## 近畿大学校友会 東京支部会報

第17号

発行日

平成29年8月16日

支部長／松元潤一 編集・文責／広報委員会 連絡先／〒132-0021 東京都江戸川区中央2-31-10-404 (株)正栄設備内 TEL.03(3674)2472 FAX.03(3674)2486

### 近畿大学校友会東京支部定期総会のご案内

#### 日 時

平成29年9月21日(木) 【定期総会】18:30 【懇親会】19:30~21:00

#### 場 所

定期総会・懇親会『ベルサール八重洲』  
東京都中央区八重洲1-3-7 八重洲 ファーストフィナンシャルビル2・3F ベルサール八重洲  
電話 (03) 3548-3770

#### 交 通

「日本橋駅」A7出口直結（東西線・銀座線・浅草線）／「東京駅」八重洲北口より徒歩3分（JR線・丸ノ内線）  
「三越前駅」B3出口より徒歩4分（半蔵門線）

#### 会 費

10,000円（年会費3,000円+総会費7,000円）

但し、今年卒業の新社会人の方は、年会費のみ、また、今年4月以降に新規ご入会頂いた方は、総会費のみとさせて頂きます。

#### ゲ ス ト

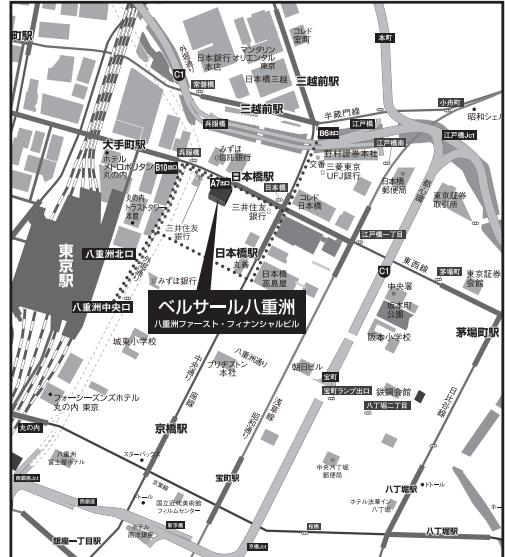
高砂親方、伊勢ヶ濱親方、誉富士関、宝富士関の予定なお、懇親会のみの参加も可能です。

#### 協 賛 品

可能な校友はお願いします。  
懇親会にて抽選にてプレゼントします。

#### 連 絡 先

近畿大学校友会東京支部 事務局  
TEL 03-3674-2472  
FAX 03-3674-2486  
E-mail info@kindai-kouyukai-tokyo.com  
幹事長 山下 貴志まで



### 校友会東京支部支部長新任のあいさつ



近畿大学校友会東京支部  
支部長 松元 潤一  
昭和61年商経学部商学科卒

8年間支部長を務められました宮川相談役に代わり支部長に就任いたしました、松元潤一と申します、よろしくお願ひいたします。

私たち近畿大学校友会東京支部は昭和33年から一都五県（東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県）で、近畿大学の卒業生を中心に母校近畿大学の発展と卒業生が東京で集える機会を数多く提供できる様、日々活動しております。

ここ数年、飛躍的に大学の知名度も上がり関東からも入学する学生も増え喜ばしい限りであります。そのおかげかどうか若い校友や東京支部のホームページやフェイスブックを見て参加される校友も増えてきております。

是非ともこのコミュニケーションニュースをご覧いただいた方も東京支部にご入会いただき、ここ東京で交流を深めて頂ければと思います。

皆さんで近畿大学並びに東京支部を盛り上げていきましょう。

### 校友会愛知県支部との交流（総会参加）

昭和51年水産卒 志賀 良典



平成29年7月2日(日)愛知県支部の総会へ行ってきました。

場所は名古屋市内の東京第一ホテル錦で、開始は17時でした。私は職種、年代、土地柄の異なる方々、との交流で色々な話をうかがうのを楽しみとしています。今回特に電子を専攻した方が来られるところで、その方との交流に期待しました。何を隠そう私は水産を専攻したにもかかわらず、大学3年の時相対性理論の一般解説書を読んだためにすっかり理論物理学の虜になってしましました。「E=MC<sup>2</sup>」エネルギーは質量×光速度の二乗、何と単純で美しい数式でしょうか。ある日研究室の一年先輩の方が私の下宿を訪ねた時、本棚の中身が水産の本よりも物理学の本が三倍も多いのを見て「どこの学生や」と言われたことを思い出します。

ところで総会では、講演・bingo大会・撮影会等イベントが多く、ちょっと残念でしたが懇親会では時間が取れず物理の話はありませんでした。大相撲名古屋場所の直前でしたが、先場所幕下優勝した「大岩戸」さんがお見えになり、話したところ、その前の夏場所(5月21日激励応援観戦)の時、我々東京支部の応援の声は、よく聞こえたと仰ってました。

帰りには名古屋名物の「外郎」をお土産に頂き、愛知県支部の方々にはとても良くしていただいて感謝に堪えません、ありがとうございました。

# 全国経済産業リーダーズクラブ関東地区新卒業生歓迎会とその日の夜の鰐BBQ



平成29年7月8日(土)12時~14時、全国経済産業リーダーズクラブ関東地区新卒業生歓迎会が、品川プリンスホテル12階「シルバー12」にて開催されました。

新卒業生22名と平成27、28年卒、既卒者、関東地区リーダーズクラブ、校友会執行部、近隣支部長、大学職員合わせて122名の参加で、昨年の103名参加を大きく上回りました。

開催に当たっては、関東地区高須代表からの挨拶、校友会谷口幹事長からの祝辞、関東地区岩佐副代表から乾杯の発声があり、歓迎会がスタートしました。

例年のごとく、近大クイズ王の戦いが4学部群に分かれ、昭和卒、平成卒、ゆとり卒の3名が代表となり、対抗戦が行われ、私が所属した理工学部は、何とか最下位を逃れ3位に滑り込みました。

閉会に当たっては、関東地区長谷川副代表から三本締めがあり、終了いたしました。

今回から校友会各支部の入会ブースが設けられ、東京支部は、新卒業生と関東地区リーダーズクラブの参加者から合わせて30名ほど東京支部に入会していただきました。

関東地区リーダーズクラブ竹谷幹事長並び

に東京支部松元支部長の開催間際の連携に感謝いたします。

その日の夜19時~22時、台場のダイバーシティ東京の屋上の「都会の農園 バーベキューテラス」にて、鰐のBBQに参加しました。

主催者である東銀座で足裏マッサージを行っているYさんは、京都から京野菜(きゅうり、トマト、ジャガイモ、青唐辛子、賀茂ナス、枝豆)と鰐(湯引き済み、生)を持ち込み、さらにナイフ、まな板、アルミホイル、自家製味噌、赤紫蘇梅シロップを持ち込みました。

「夏至を愉しむ会2017」として、マッサージに通う方々を対象として開催しました。

開催に当たっては、主催者から夏至についてのミニ知識の紹介があり、夏至とは、24節季の一つで、太陽の中心が夏至点を通過するときで、北半球では、昼が最も長く、夜が最も短い日です。

円を4等分し、一番上を夏至とすると、夏至の反対は、冬至で、冬至と夏至の間が春分で、夏至と冬至の間が秋分となり、春分と夏至の間が立夏、夏至と秋分の間が立秋、秋分と冬至の間が立冬、冬至と春分の間が立春となります。また、夏至から立秋の間は、今年は、7月7日から小暑となり、大暑の終わりつまり翌日から立秋ですが、今年は8月6日で、この時期に出手紙が暑中見舞いとなり、8月6日を過ぎると冷たいものは避けるようにとの話もありました。

さて、BBQですが、私は、初めて肉なしのBBQでした。しかしながら京野菜のBBQは、また格別で、キュウリは自家製味噌で、トマトはそのまま、アルミホイルの上には、枝豆、スライスのジャガイモ(4等分にした場合は、芯

まで火が通るには時間がかかり失敗作になります)、青唐辛子です。

関西を経験している方は、すでにご存じだと思いますが、京都の祇園祭、大阪の天神祭などの夏祭りに欠かせない御馳走の一つが魚の「はも」で、梅雨の水を飲んでおいしくなると言われ、ちょうど祭りの時期に旬を迎えることから「祭鰐(まつりはも)」とも呼ばれ、淡泊で上品な夏の味覚です。

その鰐は、まずは、湯引き済みの鰐に梅肉を添えてそのままいただき、生の鰐は、アルミホイルの上に、スライスした賀茂ナスを乗せ、さらに自家製味噌を乗せ、その生の鰐を乗せ、その上にアルミホイルを乗せて蒸し鰐とします(写真参照)。

鰐を食べたくなかったのでは、ありませんか? BBQの時間中は、もちろんアルコール飲み放題ですが、自分で、飲み干したプラスチックの容器を飲み放題のアルコールコーナーに取りに行く必要があります。オーダーストップは、21時30分です。もちろん食材だけではなくアルコールの持ち込みも可です。

来年も「夏至を愉しむ会2018」を今回同様に開催予定ですので、興味のある方は、富田まで、連絡をお願いいたします。今回の会費は、赤紫蘇梅シロップお土産付きで、7,000円(税込)でした。また、主催者の東銀座の足裏マッサージ(1時間30分の施術で、15,000円(税込))につきましても興味のある方は、富田まで連絡をお願いいたします。  
連絡先: hisatomita3@yahoo.co.jp

昭和48年理工学部原子炉工学科卒  
富田 久夫

## 一本会ゴルフ日記 第80回ゴルフコンペ・伊勢ヶ濱チャリティゴルフコンペ

平成29年一本会ゴルフの最初の第80回ゴルフコンペは、2月11日(土)米原ゴルフ倶楽部にて、久しぶりの休日開催で11名参加でした。

成績は、神奈川県支部長の杉本さんが、1位(グロス84ネット68)の成績でしたが、初参加のため、準優勝となり、2位(グロス95ネット70)の渡辺紗生さんが、優勝で、ブービーは、雪吹さんでした。特別賞のDCは、松元東京支部長と杉本神奈川県支部長で、NPは、渡辺よし子さんと杉本さんでした。

当日は、天候にも恵まれ、いつも通りのスタートホールでのドラコンでした。毎回、ドラコンは、スタートホールと昼食後のスタートホールに決めています。ニアピンは、ショートホ

ールすべてです。今回は、ワンオンしたホールが2ホールだけで、米原ゴルフ倶楽部からいただいたボールのプレゼントもありました。

今回も元支配人の平尾先輩にお世話になりますて、ありがとうございます。

第81回ゴルフコンペは、5月30日(火)かすみがうらOGMゴルフクラブでの伊勢ヶ濱部屋チャリティーゴルフコンペの中で、一本会ゴルフコンペとし、6組22名の参加で、我々の一組目に伊勢ヶ濱親方からの依頼で、夫婦の2名が入りました。ゴルフコンペ全体の参加としましては、約250名となり、もちろん貸切のゴルフコンペでした。

一本会の参加は、14名で、成績は、優勝、ベスグロ(グロス84ネット70)の佐藤さん

で、準優勝、同じくベスグロ(グロス84ネット70)の神奈川県支部長の杉本さんで、同ネットの場合は、カウントバック方式(最終ホールの打数が、少ない方が上位)により決定しました。ブービーは、千葉県支部副支部長の瀧井さんでした。

伊勢ヶ濱部屋チャリティーゴルフコンペの成績は、新ペリア方式で、一本会優勝の佐藤さん(グロス84ネット72.6)が20位、そして、茨城県支部長の小嶋さん(グロス96ネット74.4)が、63位をゲットしました。伊勢ヶ濱親方が63代横綱なので、63位の賞品が30万円相当のダイアモンドネックレスでした(拍手)。

伊勢ヶ濱部屋チャリティーゴルフコンペの

優勝は、グロス89ネット69.8の方でした。グロス70台が8人、グロス80台が49人、50位の方が、ネット73.8、100位の方は、ネット76.0で、レベルの高いコンペでした。

プレイ終了後のパーティでは、参加者が集まるまでの時間、カラオケ大会となり、伊勢ヶ濱部屋の力士、宝富士、安美錦、伊勢ヶ濱親方



が歌を披露し、一般参加の際には、富田が、参加し、盛り上りました。

表彰式では、優勝から順にすべての方が、参加賞を含め、賞品をいただきました。参加賞には、2016年秋に新発売しました新潟県の「新之助」5Kgが、新潟県後援会の支援により全員に配られました。

伊勢ヶ濱部屋チャリティーゴルフコンペの



次回は、9月場所(両国)の千秋楽後に実施される予定です。ゴルフコンペのプレイ終了後は、いつも通り伊勢ヶ濱部屋のちゃんこをいたたくことが出来ました。

次回以降も大いに参加を募りますので、ゲスト参加を含め、連絡をお願いいたします。ゴルフ幹事 富田 久夫 hisaotomita3@yahoo.co.jp



## 一木会ゴルフ夏合宿 米原ゴルフ倶楽部

一木会ゴルフ幹事  
昭和48年卒理工学部原子炉工学科卒 富田 久夫

一木会ゴルフ夏合宿は、7月26日(水)米原ゴルフ倶楽部にて、最終参加7名で行いました。例年ですと一日目千葉夷隅ゴルフクラブ、二日目米原ゴルフ倶楽部でしたが、参加者が少なく、一日のみの開催となりました。

成績は、優勝は、宮川厚子さんベスグロ(グロス101ネット77.0)で、準優勝は、渡辺紘生さん(グロス104ネット80.0)、ブービーは、宮川正博さんでした。競技は、新ペリアでしたが、HC制限なし、ホールごとのスコアカットなしで、行いました。特別賞は、DC 渡辺紘生さん、富田、NPは、宮川正博さん2個、渡辺紘生さん、富田でした。

今回は、全員グロス100を越え、皆さんやや不調でしたが、当日は、3ホール目からお昼まで雨に見舞われ、天候不良であったことを付け加えます。

ゴルフ幹事の富田は、グロス104ネット82.4で、最下位で、反省しております。

今回も元支配人の平尾先輩にお世話になり、ありがとうございました。



## 第7回 近畿大学校友会東京支部寄席

昭和61年商経学部商学科卒 松元 潤一



3月29日第6回、6月23日第7回の2回にわたり、校友会東京支部寄席が実施されました。

どちらも、たくさんの校友が集まる中、第6回では、鈴々舎八ゑ馬さんの「独演会」で、四席も披露して下さり、大いに盛り上りました。また、出産間際の大きなおなかを抱えながら、八ゑ馬さんの奥様が、受付を手伝ってくださり、夫を陰で支える、仲むつまじい光景も見ることが出来、ほのほのとした寄席になりました。

第7回では、月亭文都さんと八ゑ馬さんの「二人会」でした。二人が二席ずつ披露して下さいました。落語が面白かったことは勿論ですが、見たくても、そう簡単には見ることが出来ない文都さんのパフォーマンス?を見ることが出来ました。しばらく、落語を見ることがなかった私ですが、もともと落語を聞くのは大好きで、しかも校友が披露して下さる落語を、お腹の底から笑わせて頂き、二人の落語を堪能させて頂きました。

さらに、寄席が終わってからの親睦会も、殆どの方が参加してください、普段とは違った盛り上がりで、あっという間の2時間でした。

ちなみに、八ゑ馬さんには、無事女の子が誕生されたそうです。「とても、可愛い」と早くも親バカぶりをみせており、落語を忘れるほど、お子さんの顔をずっと眺めている毎日だそうです。次回?の寄席で、きっとお子さんを披露してくれるのではないかと、勝手に思っている次第です!次回の開催を期待しています。そして、また、東京支部の校友の皆さんで、お二人を盛り立てて行きましょう。

## 両国国技館へ校友力士の激励応援 5月21日(日)

昭和51年水産卒 志賀 良典

その日は、中日ではあったが奇しくも「大岩戸」氏が幕下優勝を遂げた場所でした。入場券が10席しか取れなかったので、コンピューターによる無作為抽出で参加者を募りました。が、当選した方へ連絡しましたところ繋がらず、また留守電の返信がなかったりで、折角当選したのに落選した方が多かったです。

午後1時に国技館正面玄関前に集合した時、偶然NHK BSテレビに撮られていて、その日の放送のくかがみ>に使われていました。5時間の観戦となるため二階の椅子席を選びました。おかげで応援の声がよく通り観戦した校友の声がバッタリ放送に入っていました。

力士の迫力を肌で感じることができ、観戦後全員満足して帰途につきました。

末筆になってしましましたが、入場券購入に大変お世話になった高砂部屋の松田マネージャーに感謝の意を表します。



## 校友会東京支部 弘法山ハイキング（追悼山行）

昭和50年法卒 尾上 良和



弘法山公園・吾妻山コースは、歩行距離：約7.4kmあり、歩行時間：約2時間10分の行程です。最初のきつい登りを除くとウォーキングに近く森の中を歩くような静かなコースです。

10月21日（土）当日は、朝から暗い曇り空でした。秦野駅で待っていると雨が降ってきました。駅舎の屋根の雨どいから勢いよく雨水が出ていました。今日は、雨具を着てハイキングに行くことになるかと思われました。

集合時間の朝10時30分に小田急線秦野駅に、校友とゲストの方を含めて総勢9名が集まりました。今回の参加者は、60歳代の先輩が多くいらっしゃいます。出発時刻のころから雨は止んだようでした。天候が悪いせいか、電車が到着しても観光客やハイカーの数も少なく静かでした。秦野駅北口の出口付近で集合写真を撮りました。今回も宮川支部長に用意して頂いた「近畿大学の小旗」を目印に持って案内させて頂きました。町中を水無川に沿って歩き始めました。歩道を歩くことで、交通事故に遭わないよう気をつけました。我々校友会のグループはまとまって、世間話をしながら、対向の歩行者にも気を付けながら歩きました。約30分で弘法山入口に着きました。（11:00）

ここから浅間山まで急なジグザグの坂道が

続きます。「最初からこの登りはきつい」との前先輩の声が聞こえましたので浅間山の手前あたりで、10分ほど休憩をしました。木々の間から遠くの街並みがちいさく見える平坦な場所で、また朝方の雨で湿めった感じがします。その後も、急な坂道が続き大変でしたが、各自の体調に合わせて登りました。

11時40分ごろ、展望台のある権現山山頂に着きました。少し肌寒く、頂上の広場は、少人数のパーティーがいる程度で静かでした。残念ながら富士山は雲に隠れて見えませんでした。そして、丹沢の山々も、山全体がはっきりと見えませんでした。展望台の上から秦野市の市街地がよく見える程度でした。山頂の広場のベンチでお昼ご飯をとりました。その後、12時10分ごろ頂上で集合写真を撮った後出発準備をしました。

頂上から少し下ったところで、トイレを済ませ出発しました。最初に山の中とは思えないほど、幅の広い石段と道が続きました。5人が横に並んで、「校友会のこと等」の会話をしながら歩くことが出来ました。しばらく続く幅広い道は異様な感じがしました。また大きな木の根が浮き出た場所や、登山路の谷側が急な崖になっているところもなく適度なウォーキングが出来ました。

弘法山の頂上で休憩を取りました。周りは、森の中で鐘突き堂があり他のグループの人が写真を撮っていました。

善波峠の分岐で開けたところで休憩をとりました。ここからは、道標が少なくなり、「クマ出没」の看板を見ながら吾妻山へ歩きました。

吾妻山では、他のグループも休憩をとる人でぎわっていました。ここからは、濡れた坂道で滑ることがないように気を使いながら、鶴巻温泉に向かって降りました。

降り切った所の高速道路のガード手前で最後の休憩をとりました。全員集合したところで写真を撮りました。高速道路のガードをくぐって住宅街の中の案内図を頼りに「弘法の里の湯」（公営日帰り温泉）まで行きました。全員が靴の泥を落とすのに10分ほどかかりました。千円を支払い、皆さん温泉に入って40分後に休憩所になる大広間に集合することを決めて別れました。ビールがカウンターで頼むより、自販機のほうがやすいということでついで缶のアルコール量が増えに増えました。校友会等のこと、世間話に花が咲き少し急ぐような形で退館の時刻16時ぎりぎりで終了することができました。途中けがもなくまた迷子になる方もなく無事終了することができました。5分ほどで小田急線鶴巻温泉駅に着くことができました。

先輩校友が切符買って間もなく、新宿行急行（16:18）が入線してきたため、あわただしく列車に乗るような解散になりました。列車内では、分散してしまい各自帰路につくことになりました。最後の締めが出来ず迷惑をお掛けしました。

皆様のおかげで全行程、無事終了することができました。ありがとうございました。

長年にわたって、近畿大学校友会東京支部相談役、また近畿大学体育会山岳部OB会として関わってこられた、上手様が平成28年8月逝去されました。ほんの数年前、今回と同じコースを山岳部OB会の会員等7名で歩きました。当時、70歳を超える年齢にも係わらず、元気に、にぎやかに行動されていたことを思い出されました。

ご冥福を心からお祈り申し上げます。

次回は、日和田山（西武鉄道池袋線高麗）を予定しております、よろしくお願いします。

